化学物質の「便利」と「危険」

もっとくわしく！
平成21年版環境・循環型社会・生物多様性白書のP8～P9、P231～P242を見てね。

わたしたちの身のまわりには、さまざまな化学物質や、化学物質を利用した商品があります。それらはわたしたちの暮らしを便利なものにしますが、なかには人の健康や動植物に有害なものもあります。身近にはどんな化学物質があり、どのような危険がひそんでいるのか、学びましょう。この本のP24～P25にも関連情報がのっています。

身のまわりには化学物質がいっぱい

化学物質は、動植物の毒や体内で作られる胃酸など、自然界にもいろいろとあります。ここでは人間が作ったり、見つけたりした化学物質を使った身近な製品を取り上げてみましょう。

■化学物質を活用した製品の例

ガソリン・灯油
燃えやすい

のり・接着剤
くっつく

プラスチック
軽くてじょうぶ

甘味料
あまい味がする

香料
においがする

石けん・洗剤
汚れを落とす

保存料
くさりにくくする

化粧品
色や香りがある

薬
病気やけがを治療

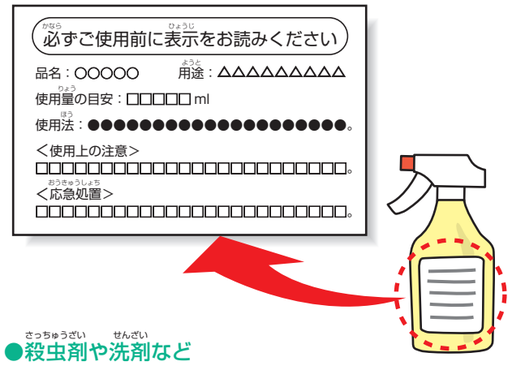
殺虫剤・農薬
特定の害虫を退治

環境や人の健康への害

化学物質の中には、自然の中では分解されにくいものがあり、人や動植物などの生きものや水、大気、土に少しずつたまっていきます。まちがった使い方や捨て方をすると、人の健康や動植物に害をおよぼします。

商品に書かれている注意書きなどで、「さわってはいけない」とか、「口に入れてはいけない」と書かれて禁止されていることは絶対にしないようにしましょう。また、捨てるときにはきちんと分別して、リサイクルできるものはリサイクルをして、ルールを守って捨てましょう。

■こんなことに注意しよう



●殺虫剤や洗剤など
まちがえて使うと、人の健康や動植物に悪い影響をあたえるので、表示を守って正しく使いましょう。

●塗料
部屋の中などの閉めきった場所で使うと、気分が悪くなることがあるので、空気をいれかえながら、使いましょう。

いろいろな環境問題を知って、
みなさんはどのように感じましたか？
想像していた環境問題と
どこがちがっていましたか？
みんなで話し合ってみましょう。